

宮崎県社会福祉サービス第三者評価結果書

評価完了日 令和3年 3月 24日

評価機関 社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

評価実施期間 令和2年8月12日～令和3年 3月 24日

1 第三者評価結果の概要

(1) 施設・事業所情報

施設・事業所名	あかつき学園	種別	障害者支援施設 障害児入所施設
代表者氏名	施設長 前田 利保	定員 (利用人数)	40 名
所在地	宮崎県日向市大字塩見字 権現原15153-1	TEL	0982-54-4655
		FAX	0982-54-4625
ホームページ	http://www.himawarikai.or.jp		

(2) 評価結果

① 特に評価の高い点

- 1 地域の行事を確認し、参加可能な行事については施設利用者と一緒に参加しています。また、施設が開催する秋祭りでは事前にポスターの掲載を学校や商業施設に依頼し、地域の方に当日のボランティアを要請するほか、クリーン活動を計画し、地域の美化活動にも努めるなど、利用者と地域との交流を積極的に行っています。
- 2 利用者による月1回の集会である「さわ会」で利用者の発言する場を設けるとともに、毎月聴き取りを行い、要望等の把握に努めています。また、要望等の内容について職員間で共有するとともに、検討すべき事項については、成人、児童の各部会で検討し、対応するなど、利用者満足の向上に努めています。
- 3 福祉サービスの実施状況の記録が適切に行われ、支援内容の変更や職員への周知事項などはパソコン内の情報掲示板にて職員全員が確認でき、情報の共有が容易にできるようになっています。
- 4 「家族との連携・交流と家族支援」については、毎週外泊している利用者の家族が高齢でドライブなど困難になった場合などに職員が家族に代わって外食支援を行うなどの配慮や工夫をしています。

②改善が求められる点

- 1 単年度の事業計画は策定されていますが、中・長期計画は策定されておらず、中・長期の事業計画のビジョンを明確化するため、早期の策定が望まれます。
また、事業計画、理念や基本方針、苦情・相談の体制については利用者や家族等への周知が行われていないので、分かりやすく文書化し、ホームページに掲載するとともに、利用者・家族、地域の方へ配布及び説明が望まれます。
- 2 ボランティア受入れや利用者のプライバシー保護に関するマニュアルが整備されていないので、マニュアルを整備し、職員、利用者や家族への周知及びマニュアルに沿った取り組みが望まれます。
- 3 ヒヤリハットや事故報告書で再発防止（改善策）はありますが、定期的に分析、見直しする取り組みがなく、リスクマネジメント体制を構築されることを期待します。

③評価結果に対する施設・事業所のコメント

社会福祉サービス第三者評価事業は、平成26年に施設移転前の旧学園での受審以来2回目となります。今回、新築移転して2年目に施設及び福祉サービスについて評価を受けたことは当学園にとって意義のあることだと思います。

評価結果を職員に周知し、取り組むべき課題を共有して改善に努めてまいります。また、過分に高く評価していただいた項目につきましても、再度見直しを行い、ご利用者、保護者に満足していただけるようサービスの質の向上を目指します。

2 施設・事業所情報

経営法人・設置主体	社会福祉法人 ひまわり会
開設年月日	昭和44年7月1日
理念・基本方針	<p>【理念】</p> <p>Motto（心構え） ・夢を志にそして使命に Mission（事業目的） ・生活に新しい価値を創造する Value（大切にしていること） ・信頼</p> <p>【基本方針】</p> <p>障がい者支援施設 地域に馴染み、地域に根ざした施設をめざす 障がい児入所施設 家庭から離れて暮らさざるを得ない児童を家庭に代わって育てる施設、利用者が望む暮らしを支える施設でありたい。</p>

事業内容	高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉
職員数	常勤職員数 33名 非常勤職員数 3名
専門職	(社会福祉士) 0名 (歯科衛生士) 1名 (介護福祉士) 17名
施設・設備の概要	建物面積：2141.71㎡ 居室数：40部屋
特徴的な取組	ご利用者主体で毎月行われるさわ会、そこで出された要望等を個別に少人数支援として実施する取り組みを行っていること。 また、担当職員が毎月ご利用者に聞き取りを行い、困っていることや意見をくみ取れるようにしていること。聞き取ることが難しい方には、職員が1ヶ月の様子を見て気にかかることを記録している。

詳細は別紙「評価結果表」を参照。